



# まちかど インタビュー

Vol.19 棚田まもる会  
の皆さん

## 棚田を通じて世代を超えたつながり

— どのような活動をしていますか？

白谷地区の耕作されなくなった棚田20枚、26アールを借りて、もち米作りをしています。収穫したもち米は、地元八柱神社に奉納するほか、地主さんや会員に配分し、その他は希望する方に販売しています。また、わらは、八柱神社のしめ縄を作っています。

— この活動のきっかけは？

最後まで棚田で耕作されていた方が平成23年に亡くなり、かつて何百枚もあった棚田も、そこでの米作りも完全に消えてしまう恐れがありました。狭い沢の傾斜に、石垣を組んで造られた白谷の棚田は、先祖が残した貴重な遺産です。未来を担う子どものために地域の大事な景観を残していくこと、平成24年から取り組みを始めました。



— 会員の構成は？

白谷在住の30〜80歳代と幅広い年齢の25名で活動しています。

この会の名称は、最後まで棚田を耕作していた方の名にちなんで、「棚田まもる会」としています。

— 地域への広がり？

田植えや稲刈りの時期には、地域の子どもたちも加わり、にぎやかに作業を行います。子どもたちは、田植えや稲刈りを楽しみにしており、参加者は年々増えています。そのような子ども姿を見ることが、棚田の活動に取り組んでいる会員たちの大きな喜びにもなっています。この体験は、子どもの成長の上で、きっと良い肥やしとなると思います。

— 今後の目標や夢は？

この棚田での米作りが、10年、20年と引き継がれていくことが目標です。棚田を通じて、みんなで汗を流して働くことで、楽しみや協働の精神が生まれ、世代を超えた絆が深まっていくなことを「棚田まもる会」の夢です。

(聞き手：平松昭徳)



発行/愛知県田原市議会 編集/広報広聴特別委員会 〒441-3492 愛知県田原市田原町南番場30-1 ☎ 0531-23-3533 FAX 0531-22-5952

☞ <http://www2.city.tahara.aichi.jp/gikai/>

✉ [gikai@city.tahara.aichi.jp](mailto:gikai@city.tahara.aichi.jp)

**募集** **パートさん**  
しその葉の摘み取り作業  
**内職さん**  
しその葉の結束・バック詰め

(応募) まずはお気軽にお電話ください。

**TEL 0531-37-0447**

**(有)前田園芸** 田原市江比間町二字郷中45  
自宅: TEL0531-37-0447

## 社会福祉法人 福寿園

愛と感謝と奉仕

養護盲人老人ホーム 福寿園  
特別養護老人ホーム 田原福寿園  
地域密着型複合福祉施設 田原ゆの里  
ケアハウス パシフィック  
特別養護老人ホーム 渥美福寿園  
地域密着型複合福祉施設 花の里

【法人本部】田原市六連町神ノ釜 9-3  
TEL (0531)27-0008 FAX(0531)27-0828